No.204
2026.10.22

みらい

ItakoCityCouncilNews

第35回全国市町村交流レガッタ喜多方大会
～潮来市から参加したクルーの皆様と一緒に～

審議議案と議決結果

令和8年第３回９月定例会

会　　期：９月１日～18日（18日間）
審議議案：20件
（市長提出議案等：17件、追加議案：１件、請願：１件、議員発議：１件）

条例改正　３件	
潮来市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	原案可決
潮来市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び潮来市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
潮来市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の一部改正について	原案可決
補正予算　５件	
令和８年度潮来市一般会計補正予算（第２号）	原案可決
令和８年度潮来市国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	原案可決
令和８年度潮来市介護保険特別会計補正予算（第１号）	原案可決
令和８年度潮来市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	原案可決
令和８年度潮来市水道事業会計補正予算（第１号）	原案可決
認定　４件	
令和７年度潮来市歳入歳出決算認定について	認定
令和７年度潮来市水道事業会計決算認定について	認定
令和７年度潮来市工業用水道事業会計決算認定について	認定
令和７年度潮来市下水道事業会計決算認定について	認定
報告　３件	
令和７年度潮来市健全化判断比率の報告について	報告
令和７年度潮来市資金不足比率の報告について	報告
継続費精算報告書について	報告
その他　２件	
潮来工業団地内用地の売買契約について	原案可決
工事請負契約の締結について （令和８・９年度焼却施設２号ガス冷却室及び再燃焼室更新工事）	原案可決
同意　１件	
潮来市監査委員の選任につき同意を求めることについて　※追加議案	同意
請願　１件	
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	採択
議員発議　１件	
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書について	原案可決

議案ピックアップ

＼気になる議案をチェック／

潮来市消防団員の定員，任免，給与，服務等に関する条例の一部改正について

少子高齢化や人口減少に伴う消防団員の減少により、条例上の定員数と実団員数に乖離が生じていることから、実情に合わせた適正な定員管理を図るために行う改正です。生産年齢人口の推移（平成27年と比較して約20%減少）を勘案し、定員数を630人から530人へ引き下げます。また、消防団員のなり手不足を解消し、居住地や勤務地に囚われない幅広い人材の確保を可能とするため、団長が特に必要と認める場合の規定を追加するものです。

潮来工業団地内用地の売買契約について

工業団地内の市有地を売却し、新規雇用や環境整備による地域発展を図ります。
対象地：潮来市島須字今林3075番69（雑種地）
面　積：5,552平方メートル
売払予定価格：1億円
【参考】不動産鑑定に基づく公募価格は5,719万円
（1平方メートル当たり1万3千円）
売払先：トノハテクノ株式会社

潮来市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の一部改正について

茨城県の条例改正に伴い、市の埋立て等の規制について届け出の対象となる面積を5,000㎡未満から3,000㎡以下へと引き下げるための改正です。これにより、3,000㎡以下の埋立て等についても、市の許可を受けなければなりません。3,000㎡を超える工事については県への届出・許可が必要となります。
無秩序な埋立て等による災害や生活環境への影響を防止し、市民の安全・安心の確保に繋げます。

一般通告質問

一般通告質問とは、議員が市長などの執行機関に対して、事務事業の執行状況や将来に対する方針などに質問をしたり、報告や説明を求めることです。

小沼　英明 議員　P.5
1. アントラーズクラブハウス誘致について
2. 川岸の道路の速度制限について
3. 物価高騰対策対応重点支援地方臨時交付金について

佐々木　徹 議員　P.6
1. 統合中学校の時期の見直しを
2. 潮来クリーンセンターの今後について
3. イノシシ対策の強化について
4. 日の出地区集中豪雨、線状降水帯に備えた対策を

和田　直子 議員　P.7
1. 水害発生時に命を守る避難体制について
2. 持続可能な有害鳥獣対策の体制整備について

飯島　康弘 議員　P.8
1. 空き家、空き地対策および環境保全について
2. 次世代への主権者教育について

黒須　俊行 議員　P.9
1. ごみ処理センターについて
2. 令和9年度以降のコミュニティバス運行等について
3. 災害時の指定避難所（中学校）の空調設備設置について

鴇田　正信 議員　P.10
1. 市道（牛）4201号線道路拡幅整備について
2. 潮来クリーンセンターについて
3. 学校統配合計画について

兼平　直紀 議員　P.11
1. 次の世代へ。変わらぬ潮来の景色を
2. 「未来の潮来のために」
   ―正確な調査と計画で、クラブハウスを！

阿部　慶介 議員　P.12
1. 子ども達全員が英語を話せる環境作りについて
2. 防災行政無線チャイムを子ども達に合わせた時間に変更！
3. スマイルスポーツパーク生み出すスポーツツーリズム！

田崎　清 議員　P.13
1. 道の駅の再整備について
2. クリーンセンターについて
3. 市長の主な公約と主要な事業について

平田　健三 議員　P.14
1. 「新しい気象情報」の周知を図れ！
2. 国の「地域こどもの生活支援強化」補助金制度を活用せよ！
3. 「身寄りのない高齢者」の支援強化を！
4. 「地域未来交付金」の活用で避難所の環境整備強化を！

志村　一 議員　P.15
1. 鹿行広域路線バス北浦ラインが廃止になった地域を回るコミュニティバス実証運行について
2. 潮来市立図書館駐車場への車両の出入りについて
3. 学校体育館のエアコン設置について

石田　裕二 議員　P.16
1. 鹿行地域の広域連携を問う！
2. ゴミ処理施設の広域化！

吉川　利一 議員　P.17
1. 潮来市が優先的に取り組む事業について
2. 潮来市の廃棄物処理計画について
3. 潮来市地域連携拠点（J1鹿島アントラーズクラブハウス等）について
4. 中学校統合について
5. 老朽化した給食センターについて

数字の横に「1」が付いていないものは、紙面の都合上掲載できませんでした。
5ページから17ページにありますＱＲコード（議員氏名隣）を読み取ると、映像で視聴いただけますので、ぜひご覧ください。

質問者　小沼（おぬま）　英明（ひであき）

アントラーズクラブハウス誘致について

問　鹿嶋市内で田口市長・原市長・小泉社長が会談したのは事実か？前向きな話は出来たのか？

答　酒井企業立地戦略室長

7月17日に三者面談を実施、来年2月に鹿島アントラーズがクラブハウス移転について最終判断を行い鹿嶋市側から対策が提出されることを確認した。

問　地域連携拠点そばの道の駅の再整備方針検討が始まった。大規模改修、現地建替え、移転拡張の3案がある。現時点での計画案は？

答　酒井企業立地戦略室長

現時点では作成に至っていない。近隣の道の駅などを参考にしながら道の駅いたこの将来のあり方について検討して参りたい。

再問　道の駅を改修するならば、潮来ICからスタジアムまで道の駅はアントラーズのフラッグを立てて鹿嶋をはじめホームタウン5市を巻き込んで地域の特産品をもっと扱いアントラーズステーションにでもしたら良い。鹿嶋市長と和解する今後の事を思い提案させて頂く。

答　酒井企業立地戦略室長

今後の研究の一つの参考とさせて頂く。

答　原市長

鹿嶋市長との関係は悪いわけではなく普通に話している。誘致に関して意見がぶつかるのは仕方がない事とご理解願いたい。

再々問　鹿嶋市議会で潮来への誘致を賛成している議員は一人もいない。鹿嶋市は三十数年間、鹿嶋市、市民、企業、クラブが寄り添ってアントラーズを育ててきた自負がある。今後の令和の広域合併、ごみ処理問題、広域行政に影響がある。市の財政も傷めず鹿嶋市長、鹿嶋市民、サポーターも賛成してくれるなら賛成するものである。

答　原市長

心配は全くないと考える。地域連携拠点整備基本構想というのは5年数か月前からスタートしている。その一部にクラブハウス誘致が入り60haを開発するもの。しっかりとこの構想の実現に向けて来年2月には調印できるように進めて参る。

川岸の道路の速度制限について

問　令和8年9月1日より改正道路交通法施行令の施行により6月に質問した潮来大橋↓郵便局裏↓水門↓十番↓日の出堤防の川岸通りの速度制限はどうなったのか、伺う。

答　榊原総務部長

中央線や中央分離帯等の無い一般道路は法定速度が30キロに引き下げられた。茨城県警察本部交通規制課に確認したところ、9月から12月にかけて最高速度40キロに指定する工事が予定されている。最高速度の指定が実施されるまでの間は改正後の法定速度である30キロが適用される。

物価高騰対策対応重点支援地方創生臨時交付金について

問　物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金実施計画の中に新一年生にランドセル、学校統合に伴う新ジャージの支給、新中学一年生対象自転車用ヘルメット贈呈など本来臨時交付金でなく一般財源で支給・贈呈されていたものでは？

答　榊原総務部長

国で示す推奨事業メニューの一つである物価高騰に伴う子育て支援事業に該当し、これらの事業に本交付金を活用することはこの制度の趣旨に合致する。

再問　申請すれば用いる事はできるが、財政指数が上がらなくても市民の為に目に見えて役立つ使い方があるのでは？

答　下河財政課長

一般財源の負担を軽減することで財政の健全化を図るための合理的な措置であると考えるところである。様々な行政需要に対する財源として循環させ適正かつ効果的な行政運営に努める。

一般通告質問

質問者　佐々木（ささき）　徹（とおる）

統合中学校の時期の見直しを

今後の生徒数の推移

年度	生徒数推計
令和11年	526人
令和12年	503人
令和13年	499人
令和14年	429人
令和15年	405人
令和20年	300人を割る

※令和20年の推計値は出生数より算出

問　潮来二中の生徒が最大278人となったのは、現在の潮来二中の校舎が建築された平成17年である。その当時と比較して令和11年の統合時は約2倍の526人となる。

新築当時も生徒数の推計値は減少傾向にあることは分かっていたであろう。ならば278人を基準に建設されたと考えるのが自然であり、税金であるゆえ生徒数が倍になるほどの過剰な建設費を掛けたとは考えにくい。

統合時は約2倍の526人となるが設備、防災、そして教育の質等、無理は生じないのか伺う。

答　**吉川教育部長**

現状の潮来第二中学校校舎は普通教室が12教室である。現在の規模でも35人学級として450名の収容は可能となっている。既存校舎の一部改修は必要となるが、設備、防災、教育の質等について、無理は生じないと考えている。

問　近隣で500人を超える中学校は鹿嶋市は5校あるうちの1校で鹿島中が500人を超える。神栖市は8校あるうちの1校で神栖二中が500人を超える。鹿嶋市、神栖市の子供たちは、市内に他校の選択肢がある。潮来市は令和11年度に統合中1校で500人を超える規模になり、市内には他校の選択肢がなくなる。この点について市の考えを伺う。

答　**吉川教育部長**

現潮来第二中学校の校舎では、教育の質という部分において教科配当数の考えで各学年に3人ずつ、5教科に関しては、専門の先生が1人ずつ配置され、保健体育の先生も2人配置される。教育委員会としても授業力の向上、英語力の向上に向けて、今年はオンラインの夏休み中の講習や対面の講習を行い、教育の質を高めることも試行的に進めている。

日の出地区集中豪雨、線状降水帯に備えた対策を

問　平成28年4月、再液状化対策事業として地下水位を下げるため新設された十番排水ポンプ場の運転開始からから10年が経過。液状化対策の地下水低下と同時に雨水排水機能も大幅に改善されその効果は絶大である。この10年間で道路の冠水、内水氾濫は発生していないが、日の出地区の心臓部は十番排水ポンプ場であり、その強制排水能力は豪雨時の対策指標になると考える。ポンプの最大能力と雨量の関係を伺う。

答　**濵野建設部長**

毎分107.4立方メートルの排水能力に加え、調整池約2,300立方メートルの機能を有している。霞ケ浦水郷流域管理公共下水道事業計画より、降雨強度公式5年確率より時間雨量53.2ミリの排水能力としている。

再問　時間雨量53.2ミリを超えた場合、どのような想定、対策をされるか伺う。

答　**遠矢上下水道課長**

線状降水帯による豪雨のように時間雨量100ミリを超えるようなものになると、ポンプ場の運転は浸水対策がされているため継続できるが、多くの箇所で冠水や浸水が発生することが想定される。必要に応じ避難情報の発令や周知を行うなど、災害発生に備えた対応を図っていく。この施設を維持するため、令和8年8月27日に国へ財政支援要望を行っている。

質問者　和田（わだ）　直子（なおこ）

水害発生時に命を守る避難体制について

問　**7月の水害対応避難訓練では、実効性のある避難訓練とするため、地区ごとの地形や浸水想定、避難経路の違いを踏まえ、どのような災害シナリオを設定したのか。**

答　**榊原総務部長**

大雨と土砂災害の危険情報が発表され、常陸利根川と前川が氾濫危険水位に達し、土砂崩れの可能性もあるとの想定で実施した。避難経路の確認と避難所開設・運営の初動対応を中心としたため、地区を細分化した避難行動のシミュレーションまでは行っていない。

問　**空調設備のない体育館について、協定事業者から提供を受けるスポットクーラーの必要台数、確保可能台数、搬入時期など、どのような運用を想定しているのか伺う。**

答　**榊原総務部長**

体育館全体の冷却は難しいため、要配慮者の滞在場所や救護スペースを優先的に冷却することを想定している。また全市的な災害や複合災害では、スポットクーラーをはじめとする資機材が不足することも考えられる。その場合も、既存の資源を最大限活用して対応する。

再問　**体育館への空調設置が望ましいが、整備には時間がかかる。すぐに避難所が必要になった場合に備え、公民館だけでなく、空調設備のある地区集会所なども避難所として活用してはどうか。**

答　**大川総務課長**

多くの地区集会所には空調設備があり、まずは各地区の住民が避難する場所となる。また、中央公民館をはじめとする各公民館、図書館、かすみ保健福祉センターなども避難場所として活用していく。

持続可能な有害鳥獣対策の体制整備について

問　**イノシシの捕獲が一部の熟練者に集中していないか、令和6・7年度の捕獲実績者数と捕獲頭数を伺う。**

答　**篠塚環境経済部長**

捕獲数は、令和6年度は75頭、令和7年度は87頭。今年度は8月の末現在37頭で、昨年の8月末の19頭に比べ約2倍の捕獲状況。

捕獲実績の人数は、令和6年度は6人、内訳は、多い方から44頭、次に18頭、次に10頭、1頭の方が3人。令和7年度は6人で、多い方から51頭、次に17頭、次に13頭、2頭の方が3人。

再問　**捕獲頭数の大半が上位3人に集中し、1人が全体の半数超を捕獲している。このような体制には継続性の面で課題はないか？**

答　**松崎環境課長**

捕獲実績が一部の人に集中していることは、熟練者の高い技術力と献身的な活動の表れである。より多くの会員が安全かつ効果的に捕獲活動へ参加できる体制を構築することが急務だと認識している。

問　**新規会員も解体技術を学び、共同利用できる処理拠点が必要ではないか。近隣自治体、民間団体、事業者などと整備を検討する場合、市は関係機関との調整や用地確保に協力する考えはあるか。**

答　**篠塚環境経済部長**

捕獲後の解体・処理は大きな課題である。将来にわたり継続的に駆除できるよう、猟友会と一緒に体制を整える必要がある。近隣自治体や県、関係機関と調整を図り、用地確保なども含め調査研究していく。

再問　**市民、民間団体、事業者などから、処理施設・処理拠点の整備や有害鳥獣対策に協力したいという相談があった場合の相談窓口は？**

答　**松崎環境課長**

イノシシ捕獲に関する補助は農政課、捕獲許可などは環境課が担当している。処理拠点などに関する相談や要望については、環境課で対応する。

一般通告質問

質問者　飯島（いいじま）　康弘（やすひろ）

空き家・空き地対策および環境保全について

喫緊の課題である空き家対策・空き地対策および雑草繁茂等への対策を伺う。

問　市が把握している現状、相談件数は？

答　榊原総務部長

空き家総数２６３件、相談件数54件（Ｒ７年度）。

答　篠塚環境経済部長

雑草繁茂の相談件数71件（Ｒ７年度）。

問　実在する空き家総数と市で把握している総数の違いは認識しているか。

答　大川総務課長

市で把握している総数は、相談・通報を受け職員が現地確認を行った数の積み上げであり、市内全域の現状の把握は今後の課題であると認識している。

問　空き家対策の具体的中身は？

答　榊原総務部長

空き家対策は特別措置法及び潮来市空家等の適正管理に関する条例に基づき推進している。具体的には委員会を設置し空き家の判断基準を策定し各所管の専門性を活かす横断的な対策を講じるものとなっている。

問　空き地や雑草繁茂については？

答　篠塚環境経済部長

市民からの通報や相談を受付け、職員が現地確認を行う。その後、所有者を特定し除草や適正管理を行うよう通知を行っている。

問　市としての一番の課題は何か。

答　大川総務課長

民間の敷地に関しては、所有者が管理することが大原則となっており、市といえども法的手続きなしで解体や処分ができないこと。加えて所有者や相続人を特定する事務作業に時間と費用を要している等がある。

問　行政として「できる範囲」と「できない範囲」があることを市民に知ってもらうことが課題解決に繋がると考えるが？

答　榊原総務部長

市民の皆様との情報共有や理解度の強化が重要と認識している。市としての責務、所有者の責務を明確にし、情報提供の充実、相談窓口の強化、広報活動の充実を図り、市民の皆様のご理解ご協力をお願いしてまいりたい。

次世代への主権者教育について

こどもたちが地域の一員として、地域に愛着と関心を持ち、社会と関わる力を育てるものと認識している。そのひとつとして「こども議会」を開催している。

問　こども議員の意見は市政にちゃんと反映されるのか。

答　榊原総務部長

こども議員の質問に込められた想いは、広聴事業の一環としてしっかりと受け止め、今後の市政運営に反映できるよう努めてまいりたい。

問　こどもの意見を政策に反映する既存制度の取組は？

答　榊原総務部長

「高大連携事業」において潮来高校生と大学生が市の課題を分析し、政策立案する取り組みを行っている。

答　吉川教育部長

「通学路安全推進会議」において児童生徒のアンケートをもとに安全対策に取り組んでいる。また学校統合を見据えオンラインで各中学校をつなぎ生徒会を中心にご意見を伺った等がある。

問　こども議会と今の議会と行政が連動していくことが将来の潮来に繋がると考えるが見解は？

答　榊原総務部長

こどもたちの声を一過性のものとせず、こども議会での提言などを重要施策の原動力のひとつとして位置付け、議会と認識を共有しながら実効性のある仕組みづくりを研究していきたい。

質問者　黒須（くろす）　俊行（としゆき）

ごみ処理センターについて

平成3年に稼働し、35年を迎え、耐用年数を大幅に超え、かなりの老朽化が進んでいる。

問　**茨城県のごみ処理広域化計画では、鹿行5市に大洗町を加え令和41年度供用開始とする計画であるが、今後33年間の対応を伺う。**

答　**篠塚環境経済部長**

令和13年度頃を目標に受入れ可能自治体との共同処理の運用開始を目指し、安全かつ確実な広域処理体制へ移行することが当面の目標である。

問　**行方市処理施設は平成12年竣工、延命化により使用目標を令和18年、また鹿島共同可燃ごみ処理施設は令和6年竣工、使用目標を令和40年としている。当市の提携先を再確認したい。**

答　**篠塚環境経済部長**

現時点においては受入れ可能な自治体との連携協議を進めるのが最も現実的であり、整合性が取れる選択であると判断した。

問　**クラブハウス誘致や老朽化が著しい築45年となる学校給食センターの建替えを含め、財源の捻出と長期財政計画を示すべきと考えるが。**

答　**榊原総務部長**

令和7年～11年度の5カ年計画期間とする中期財政計画を策定しており、継続した事務事業や市債発行の適正化により健全な財政運営を進めて参る。

再問　**クラブハウス、ごみ処理施設、給食センター、廃校となった校舎・体育館の解体費用や建設価格の高騰など認識されているか伺う。**

答　**下河財政課長**

多様な行政需要、公共施設の老朽化など常々認識しており、財源の中で優先順位を踏まえ予算編成をしている。

再々問　**少子高齢化により財源収入が右肩下がりに推移していく中で、子供達の教育、育成やインフラ整備、福祉サービスの低下に直結しないよう配慮頂きたい。また我が市が抱える大きな課題と長期的な計画を市民にも分かりやすく示して頂きたい。**

答　**下河財政課長**

財源比率、令和7年度決算ベースで37.7％と大変低い自主財源比率となっており、長期的に確実な財源を見込むことが困難であるため、中期的な財政指標を視野に全庁的に検討を進めていく。

答　**原市長**

クラブハウスを含め、企業を誘致し、交流人口と定住人口を増やし、税収を増やしていく考えのもとに進めており、財政計画もできることはオープンにしていく。

令和9年度以降のコミュニティバス運行等について

問　**無料運行を継続する考えがあるのか伺う。**

答　**榊原総務部長**

今年度においては物価高騰対策交付金を活用し、無料運行を実施している。令和9年度以降の事業実施の有無や有料・無料の運賃体系については定まっていない。

問　**タクシー利用券の増額、または見直しがあるのか伺う**

答　**村田市民福祉部長**

本事業に関する動向を注視するとともに利用向上を図るため、ニーズの把握や周知に努め、高齢者の外出支援及び社会参加の促進ができるように取り組んで参る。

災害時の指定避難場所（中学校）の空調設備設置について

問　**鹿嶋市及び行方市では100％設置完了しており、神栖市では今年度1月には全ての中学校体育館に設置完了予定である。当市の設置状況について伺う。**

答　**吉川教育部長**

日の出中に冷風機1台、一中、二中には今後、財政状況に合わせて計画的に整備を進めて参る。

問　**今後の設置計画について伺う。**

答　**吉川教育部長**

中学校の屋内運動場への空調設備設置は必要と考えており、学校適正化の状況や個別施設計画の見直しを含め、財政状況に合わせて計画的に進めて参る。

一般通告質問

質問者　鴇田（ときた）　正信（まさのぶ）

市道（牛）4201号線道路拡幅整備について

問　市道（牛）4201号線道路（国道51号線から観音寺へつながる道路）拡幅整備については多くの住民の方から道路拡幅の陳情書を2回出しており、多くの皆様方からいつ頃、道路拡幅整備ができるのか多く御意見があったため、いつ頃、安全な道路になるのか、伺う。

答　濵野建設部長

平成27年度と令和6年度に当時の区長、うしぼり園園長、観音寺住職、その他、地域住民の方々より国道51号から観音寺までの区間の道路拡幅要望書をいただいている。本路線の拡幅等につきましては道路整備計画に位置づけするまでには至っていない。

問　令和6年度の質問で現在地籍調査をしているため地籍調査が終わらなければ出来ないと言われた。準備として、その土地に関わる地主さんの許可をいただいて、いつでもできる体制を取っているがいかがか。

答　濵野建設部長

道路の整備計画の位置づけについては、道路の現状や利用状況、周辺の土地利用などの様々な状況を踏まえ、計画の全体を図る必要がある。現時点では本路線を道路整備計画に位置づけするまでには至っていない。

潮来クリーンセンターについて

問　老朽化したごみ焼却施設を今後どの様にして運用をしていくのか。

答　篠塚環境経済部長

昨年、令和7年9月の第3回の定例会において、令和8年8月までに今後の方向性を示すことをお約束させていただいた。その後、周辺各市の状況やごみ施設の現状等を調査整理し、可燃ごみ搬出先比較表を作成の上、5月26日の全員協議会でお示しし、さらに委員会協議会等でのご意見を踏まえて、8月25日の全員協議会に於いて、受け入れ可能な自治体との広域連携という方向性を示した。受入れ可能自治体に要請をいたしまして、今後、協議を進めて行くというふうに考えている。

学校統廃合計画について

問　学校統廃合計画の疑問点について、中学校1校化の場所は市の中心部がよい。場所に合わなければ新しく建設したほうがよいのでは？

答　吉川教育部長

最新の計画である第2期潮来市学校適正化計画では、既存中学校を利活用して統合する事が明記されているため、統合に関し、市の中心部という文言も新しく建設する予定もない。

問　旧牛堀町の子供たちに対する配慮が薄いと思われるのは何故か。

答　吉川教育部長

これまでも潮来第一中学校、牛堀中学校の統合や中学校一校化検討委員会、そして中学校統合準備委員会におきましても、牛堀地区から複数の委員を選出し、学校、保護者、地域からご意見を伺い、十分に議論してきている。

問　スクールバスの有料は義務教育ではあり得ないと思われるがいかがか。

答　吉川教育部長

全国、県内に於いて、スクールバスを有料としている市町村と無料にしている市町村があり、地域性など、それぞれの市町村の考え方がある。潮来市は月1，000円の利用料を頂いている。

問　短い年数で2段階統合案はあり得ない。「全国でもまったく例がない」ことについて伺う。

答　吉川教育部長

長崎県長崎市や山口県周防大島町、山形県米沢市などで二段階の統合が実施または計画されている。

次の世代へ。変わらぬ潮来の景色を

問　稲荷山公園の整備と利用促進、２年前の質問以降における設備の更新や利用促進の実績と、今後の計画は？

答　篠塚環境経済部長

現在は除草や清掃等の現状維持管理を中心に行い、「駅からハイキング」等のコースとして活用している。

答　大川観光商工課長

国定公園（第２種特別地域）の制限や借地関係を踏まえ、自然環境を生かした利用・整備に向け、関係機関や地権者等と調整を図りながら検討を進める。

問　桜並木の保全対策、権現山での樹木医診断結果の共有・活用実績と、桜並木を計画的に保全していく方針は？

答　篠塚環境経済部長

権現山での診断結果をそのまま適用することは難しいが、今年度は造園業者による点検・実態把握を進めている。

答　大川観光商工課長

今後は必要に応じて樹木医へ相談・連携し、桜並木の原風景を次世代へ継承できるよう、保全対策を検討していく。

問　地域おこし協力隊や市民参加型の研修などを取り入れて景観保全プロジェクトを進める考えは？

答　大川観光商工課長

協力隊の意向や関係部署との連携を確認しながら、景観保全・魅力向上に力を発揮できる仕組みを調査研究していく。

問　市道９１９号線（稲荷山沿い）の路面のひび割れや段差、防護柵の痛みが著しい、安全確保と景観維持に向けた早急な再舗装等の対応は？

答　濵野建設部長

現場の損傷状況を確認した上で、安全確保に課題がある箇所については再舗装を含めた必要な修繕工事を検討していく。

「未来の潮来のために」―正確な調査と計画で、クラブハウスを！

問　「鹿島アントラーズクラブハウス整備実現可能性調査業務委託が補正予算で通ったので本当にほっとしている。これが通っていなかったら検討も何もできない。」他事業を圧迫しないための市負担額の上限設定や民間資本・各種補助金の活用、財政リスク管理方針は？

答　酒井企業立地戦略室長

他事業を圧迫することなく本事業を推進し、補助金活用や財政負担の見通しについて財政課と協議し負担軽減に取り組む。

答　原市長

他の事業を実施できなくなるような無理な投資は行わない。自主財源を極力投入しないよう、ＰＰＰ／ＰＦＩを活用し民間や国・県も巻き込んだ制度設計を進め、財政課と密に連携して安全に進めていく。

問　整備（ハード）と利活用（ソフト）の議論を並行し、経済活性化や教育成果等の構想を確実な成果に結びつける活用策や推進体制は？

答　酒井企業立地戦略室長

ハード・ソフト両面の議論を並行して進める必要性を認識しており、正式に移転が決定した際には速やかに基本計画策定に取り組む。

問　人口減少や地域の衰退が懸念される中、市民や子どもたちが未来への大きな希望を持ち、誰もが笑顔で応援できる潮来のために、徹底した情報開示と厳格な財政管理を行い、身の丈に合った計画で結実させたい。

鹿嶋市はスタジアム、道の駅構想、行方市も高速延伸による道の駅、香取市は成田空港機能拡張による大規模な観光開発等が進む中、取り残される不安を抱く市民のため、本市はどんな未来を描くのか？

答　原市長

地理的優位性を生かしたまちづくりとクラブの将来像を合致させ、ホームタウンへの還元やスポーツを通じた地域の活性化・発展を目指し、２月の調印に向け取り組んでいく。

一般通告質問

質問者　阿部（あべ）　慶介（けいすけ）

子ども達全員が英語を話せる環境作りについて

問　正直、先生が足らない状況で新たに部活をつくる難しいとは思うが、中学校でＡＬＴを活用した、英語部を作っては？

答　永山学校教育課長

現在の中学校の教員数では難しい。令和11年には統合中学校の予定がある、生徒数、教室数の増加に伴い教職員の配置が増加するので希望する生徒の動向を見ながら調査研究していく。

問　魅力ある町にするために、大きく予算をつけるなどしてもっと英語に力を入れるように、市の方針を大きくかじを切っては？

答　塙教育長

令和８年度についてはＡＬＴの数を増やし、夏休みは講習会を実施した。色々なことを試行しながら、潮来市の英語教育はこうあるべきだ、そういったところをしっかりこれから研究検討をしていく。

防災行政無線チャイムを子ども達に合わせた時間に変更！

問　各小・中学校のＰＴＡ会長、子育てネットワーク委員、県東Ｐ連会長から夏季期間のチャイム放送を午後５時へ変更していただきたいとの要望書が提出されている。特に低学年の児童など、時計を見て正確な時刻を判断することが難しい。チャイムは帰宅する時間を知らせる分かりやすい合図。夏季のチャイムを午後５時へ変更をしてもらいたい。

答　榊原総務部長

確かに、子供たちの帰宅時間に合わせてチャイムの放送時刻を設定している。学校の指導や潮来市ＰＴＡ連絡協議会からの要望を踏まえ、内部協議を進める。

スマイルスポーツパーク生み出すスポーツツーリズム！

問　人工芝サッカー場の年間利用者について伺う。

答　吉川教育部長

７年度５万1,541人、８年度は８月までで２万3,463人。

問　夏休み期間の合宿、大会と市内宿泊施設の利用状況は？

答　吉川教育部長

エージェントや県内外のスポーツクラブの主催による小学年代のジュニア大会、中学年代のジュニアユース大会、鹿嶋サッカーフェスティバル大会。合宿は、県外から小学生や高校生、大学生が３日から５日間の日程で利用。市内宿泊施設の利用者数は3,200人以上となっている。

問　大会等がかなり増えている要因は？

答　大崎生涯学習課長

Ｂグラウンドが新たに完成したこと、潮来ＩＣから２分ほどの場所で都心からのアクセスと環境的の立地が良いこと。また市内の宿泊施設の対応も良く、エージェントがこの地を最適地と選んでいるからだと思っている。

問　アントラーズＤＭＯが実施した大会でもかなりの経済効果があった。盛り上がってきたスポーツツーリズムの今後の展望は？

答　塙教育長

先日開催された塙ＣＵＰは以前監督を務めていた茨城教員葵クラブ、茨城県国体選抜の選手たちなど18チーム600人が県内外から参加をしてくれた。また２つの某有名大学サッカー部がエージェントから良いところだと聞きお盆期間で４泊５日合宿に来てくれた。市からアプローチしたり、食事やお弁当など相対的なものが充実している。ここ数年、旅館さんや、生涯学習課、観光商工課で積極的に取り組んでいただいている。そういったものを今後ますます磨き上げて関係者と手を取り合って、スポーツツーリズムの推進を取り組んでいく。

質問者　田崎（たさき）　清（きよし）

市長の主な公約と主要な事業について

問　高速バス駐車場の無料化と日の出に警察署、消防署の誘致事業の、進捗状況について伺う。

答　濵野建設部長

駐車場の無料化は関係法令により無料化出来ない。

答　榊原総務部長

警察署の誘致は、令和元年議会において設置できないとの答弁している。消防署については、鹿行広域事務組合において協議しているが進んでいない。

問　病院の誘致、日本一の水路について伺う。

答　酒井企業立地戦略室長

病院誘致について　令和7年に八代小跡地にクリニックが開業している。

答　榊原総務部長

日本一の水路については、浮桟橋の整備や水辺の花植え、花木植栽に取り組んできた。長期を想定した事業については、令和14年度以降市民協働の観点を持ち具現化していく。

問　アントラーズクラブハウス建設誘致の進捗状況について伺う。

答　酒井企業立地戦略室長

クラブハウスの誘致に向けて実現可能性調査業務に係る予算を確保し、プロホーザル公募して委託契約を締結した。現在施設配置計画の検討作業を進めている。

問　8月6日付け読売新聞において、「鹿嶋市が新たに市内でクラブハウス整備に向けた提案書を作成する方針を固めたとし、クラブ側の負担が潮来市の提案の半額になることを目指し、30億円程度になるよう調整している。」と報道している。潮来市の提案額が60億円と推測されるが、この財源について伺う。

答　酒井企業立地戦略室長

本市が提案内容そのものを公表した事実はない。このため答弁は控えさせていただく。

クリーンセンターについて

問　今後の方向性ついて伺う。

答　篠塚環境経済部長

受け入れ可能な自治体に対するごみ処理の要請を行う。修繕費用の負担を考えると、単独の施設を稼働を続けることは、困難である。

答　原市長

潮来、行方、鉾田との協議をしていたが、場所が決まらなかったため鹿嶋、神栖のほうに入れさせていただきたいということで、離脱した。今後、受け入れ可能な自治体に10月の初旬までには、私が要請書を持って直接市長にお願いをする予定にしている。

質問者　平田（ひらた）　健三（けんぞう）

「新しい気象情報」の周知を図れ！

問　避難指示・行動の取り組みを伺う。

答　榊原総務部長

気象庁によれば、河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮に関する情報などは、避難情報の５段階の警戒レベルに対応し、避難の判断をしやすくしたとされており、防災気象情報の体系が整理されたことにより、警戒レベルとの一体化や、新たな表現の導入などに伴い、どの情報が出たら住民が具体的にどう行動すべきかがより分かりやすい仕組みへと変わった。

今後につきましては、引き続き災害情報を迅速にお知らせする手段として、防災無線をはじめ、防災無線テレフォンサービス、個別受信機、メール、ＳＮＳ等多方面からの周知をする。

国の「地域こどもの生活支援強化」補助金制度を活用せよ！

問　長期休業中の学童クラブに昼食を検討してはどうか。

答　村田市民福祉部長

当該補助金は、多様な困難に直面している子供等が安心・安全に気軽に立ち寄ることができる食事の提供場所を設けるとともに、支援が必要な子供等を早期に発見し、適切な支援機関につなげる仕組みを構築することなど、地域の支援体制を強化することを目的としている。

公立学童クラブにおける長期休業中の昼食の取組について、補助金の活用方法につきましては、適切な運用や、対象となる事業について、今後さらに調査研究を進めて参りたい。

「身寄りのない高齢者」の支援強化を！

問　市社協との連携強化を伺う。

答　村田市民福祉部長

独り暮らし高齢者数、令和７年度末１，４５７名、令和６年度末は１，３８４名、73名の増となっております。また、令和７年度末時点で緊急連絡先等の確認ができていない高齢者の方は、全体の３割となっており、増加傾向にある。今後の計画策定につきましては、今年度、市において策定を進めている地域福祉計画、地域福祉活動計画、障害者計画、高齢者福祉計画の中に、社会福祉法等の改正内容に関する取組を反映させる。

社協で、身寄りのない高齢者の支援というところで、既に研修会など県の社協を中心に実施されており、潮来市の社協も、新たな事業の開始に向けた課題と必要な準備を整理するために、今後参加をする予定になっている。

「地域未来交付金」の活用で避難所の環境整備強化を！

問　避難所の取り組み強化を検討してはどうか。

答　榊原総務部長

避難生活におけるトイレなどの衛生環境の改善、暑さ寒さ対策などの環境改善、防災・減災に必要な資機材の整備、それぞれ必要と考えている。現時点においては、災害時応援協定覚書を締結している関係機関と連携を図り、資機材の設置を実施することを考えている。

ご提案の交付金を活用した各資機材整備につきましては、平時の利活用も含めての交付要件という部分も含めて、先行導入事例の調査などを進めて参りたい。

質問者　志村（しむら）　一（はじめ）

―安心して利用できる公共交通を目指して―
鹿行広域路線バス北浦ラインが廃止になった地域を回るコミュニティバス実証運行について

問　廃止となった北浦ラインを利用していた地域の方々から、どのような声が出ているのか？

答　榊原総務部長

7月31日に鹿行北浦ライン沿線の地域団体の代表者の方々に、ヒアリングを行った。その中では、需要の少ない路線を維持するよりも、時間制約がないタクシーを利用しやすくしてほしい、自家用車で移動できるため生活の変化はないなどの意見をいただいた。

問　北浦ラインに代わるコミュニティバスの新しいコースの実証運行についての考えは？

答　榊原総務部長

アンケートやヒアリングを通し市民の意見をお聞きし、また、現在実証運行中のコミュニティバスの効果検証を行いながら、市民の皆様にとってより最適な公共交通の提供を目指し、持続可能な公共交通の在り方について、引き続き調査研究していく。

―安全に利用できる市立図書館を目指して―
潮来市立図書館駐車場への車両の出入りについて

問　図書館駐車場南側牛堀駐在所と大友製菓店の間を通る市道、これに出入り口を設置、または出口専用を設置するだけで、県道5号線からの車両出入りの危険性は下がるのでは？

答　吉川教育部長

市立図書館から牛堀駐在所と大友製菓店の間の道路に、市立図書館駐車場側からの進入路を接続する際にはどの場所、形状がよいかなど、道路管理者や警察などとの協議が必要になる。車両進入路における安全性や利便性につきましては、課題解決のため、引き続き関係者と協議していく。

―安心して活用できる体育館を目指して―
学校体育館のエアコン設置について

問　潮来小体育館にエアコンを設置した目的は？

答　吉川教育部長

潮来小にエアコンを設置した目的は、教育施設の充実とともに、災害級の暑さへの対策として児童、教職員の身体を守るため、また、避難所としての環境整備という目的で設置した。

再問　潮来小体育館にエアコンを設置した目的は、他の市内小・中学校体育館にも全く同じく該当するのではないか。潮来市内学校体育館エアコン設置計画も示されないまま、なぜ潮来小だけ体育館にエアコンを設置したのか？

答　永山学校教育課長

潮来小体育館改修工事につきましては、エアコンの設置工事だけではなく、統合に伴う施設改修工事となっている。内容としては、内装・外装、そして駐車場、電気設備など全般的な工事を行った。

問　各学校体育館へのエアコン設置の計画はあるのか？

答　吉川教育部長

現在、市内の各学校体育館へのエアコン設置の計画はない。今後、学校適正化の状況や個別施設計画の見直しを含め、財政状況に合わせて計画的に整備を進めていく。

再問　各学校体育館へのエアコンが設置されるまで何年もかかるのではないか。それまでの間、教育委員会として、体育の授業などどのような熱中症予防対策を講じていくのか？

答　永山学校教育課長

潮来小におきましてはエアコンが整備されたが、スポットクーラーを運用して、体育館で運用しているという学校も中にはある。ただ、体育館のエアコンにつきましては、必要性について十分認識している。リースという手法などもあるので、潮来市に合った整備手法など研究していく。

一般通告質問

質問者　石田（いしだ）　裕二（ゆうじ）

鹿行地域の広域連携を問う！

少子化、人口減少が進む鹿行地域では、近隣市との連携これまで以上に重要になっている。長年の課題であるゴミ処理場、医療過疎問題、観光、広域交通、学校給食施設など、それぞれ広域連携のあり方を質した。

問　老朽化が顕著なゴミ処理場について、広域化が進まなかった理由は？

答　篠塚環境経済部長

周辺自治体側の議会や地域の合意形成が得られなかったため。

問　広域観光の具体的な取り組みは！

答　篠塚環境経済部長

・東国水郷観光推進協議会による広域連携
・つくば霞ケ浦りんりんロードの活用
・アントラーズホームタウンDMOの広域観光事業

今後も鹿行地域の各市と民間事業者と連携し、誘客促進及び滞在時間延長に取り組む。

問　広域公共交通！

買い物・医療通院に不可欠な広域公共交通の課題解決をどう進めるのか。特に一人暮らしの高齢者や免許返納者は頼らざるを得ない。対策を問う！

答　河瀬企画政策課長

広域バス、JR、タクシー利用など取り組んでいる。引き続き行方市との広域バスでの連携をしながら移動支援を進める。

再問　コミュニティバスがJR鹿島線との連絡に不便との声がある。早い時間の運行を望む声があるが対応を伺う。

答　河瀬企画政策課長

実証運行の分析を踏まえ、時間帯やルートの見直しを研究する。

ゴミ処理施設の広域化！

問　8月25日の潮来市議会全員協議会において、行方市との共同処理広域連携の方針を示し、その理由に「行方市は最終処分場を有する」と。鹿島地方事務組合の受け入れは「不可能」の理由を問う。

答　篠塚環境経済部長

可燃ゴミの受け入れ可能量の余力がないためである。

再問　8月25日の全員協議会では、受入能力はギリギリで、完全に不可能ではないと答弁であったが。

答　松﨑環境課長

受入量ギリギリのため、不可能の判断をした。

再々問　平成30年に鹿島地方事務組合に参加申し入れた際の状況は！

答　原市長

当時は「ぎりぎり入る」という認識だった。

問　行方市の最終処分場は、令和10年が処分最終年。見直すとしても容量も大きくない。選定理由に市長、副市長、担当部局、議員意見からは「最終処分場を有する」としている。実際に受け入れできないとなると選定条件が大きく変わるのでは!!

答　原市長

最終処分場も選ぶ一つの要素。その他、多岐にわたる条件を加味して総合的に判断をした。

問　コスト算定のない中での選定！

最終処分場の問題しかり、広域処理施設の初期投資・ランニングコストの算定がされてない。対比の条件が分からない状態。比較ができるのか。

答　原市長

市の財政的負担が一つ、もう一つは潮来市民の利便性を考えた時に、運搬距離が要素となる。鹿島地方事務組合の炉は新しく、行方市では二重の手間になる心配については、そうならないように運営費、改修費等の協議をしっかりもんで、将来の鹿行がひとつになる時までできっちりと安全に管理できるよう、コストが安く市民の利便性を維持できるよう決定した。

質問者　吉川（よしかわ）　利一（りいち）

潮来市の地域連携拠点（J1鹿島アントラーズクラブハウス等）について

問　茨城新聞によると、予定地は埋立地ではなく地盤が安定しているとし、浸水想定区域となっている点についても土を盛れば問題はないと考えを示したとある。何メートル盛土すれば問題ないと認識しているのか、具体的な数字を求める。

答　**酒井企業立地戦略室長**

盛土に必要な深さ、高さについては、科学的根拠を基に検討する必要がある。

問　茨城新聞で、潮来市新運動公園の方針が公表された。アリーナや防災備蓄倉庫、屋内遊戯施設、飲食施設などが機能として挙がった。財源の裏づけはあるのか。

答　**酒井企業立地戦略室長**

潮来市総合運動公園については構想段階のため、概算事業費などの算出や財源の裏づけ等は行っていない。

再問　アリーナについて、新聞で公表する以上、何々の補助事業を使ってやると言えるのではないか。

答　**酒井企業立地戦略室長**

今回の内容は、長期的なビジョンとしてまずは公表をしている。今後の具体化をする中で、ご指摘の概算事業費の算出も検討作業に入っていく時期が来るものと考えている。

再々問　財源はこれから決めるとのことだが、例えば、補助金、交付税、起債というもののあてがあって初めて新聞に載せるものではないのか。根拠があって（新聞に）載せる。数字は言えなくても、そういう姿勢があってしかるべきだと思う。

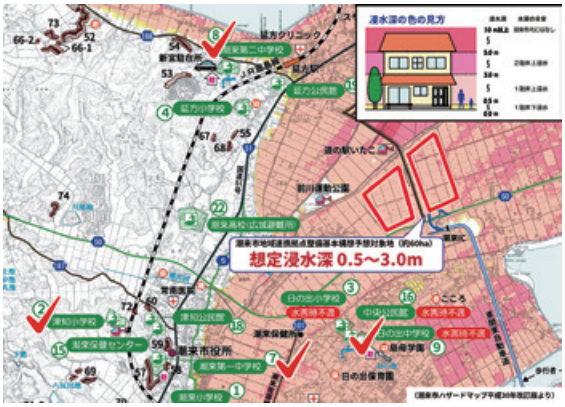
答　**原市長**

構想段階で財源等の計画は行わない。今現在アントラーズのクラブハウス誘致も計画には至っていない。まだ交渉段階で、来年の2月に契約を結んで、初めて計画づくりがスタートする段階である。今は構想段階で、計画段階に入らないと数字を発表できない。構想はたくさんあり、1つ1つ枠組みをはめてから発表ではなく、構想ができあがった時に、通常発表するものだろうと認識している。

問　茨城新聞によると、鹿嶋市はクラブハウス受入れ計画案をJ1鹿島アントラーズに提示したとある。その中で、クラブ側の負担額が30億円以内に収まることを目安とし、内容がまとまり次第、提案すると言っている。鹿嶋市は、そこまで具体的な金額を出している。潮来市の計画では、クラブ側の負担額を30億円以内に収めることはできるのか。できないとするならば何億円以内なら収まるのか。

答　**酒井企業立地戦略室長**

現在、クラブ側の要望などを確認しながら、施設配置計画の検討作業に入っているが、概算事業費などの具体的な数字の算出作業には到達していない。



委員会審査　決算特別委員会

9月14日・15日の2日間で決算特別委員会を開催し、本委員会に付託された議案4件を総務部、建設部、教育部会、市民福祉部、環境経済部の部門ごとに審査しました。

適正に予算が執行されているか、期待した行政効果が得られているか、さらには今後改善を要する点はないかなど、慎重に審議を行いました。

議員からの質疑　ここが聞きたい！

総　務　部

●財政調整基金費　積立金　565,795,286円

問　積立額の経緯を伺う。

答　財政調整基金は令和6年度中の予算ベースで4億円まで落ち込んだため、令和7年度予算は予算規模を圧縮して編成した。その効果と、国の経済対策や補正予算の財源を活用したことにより、約5億円積み立てることができ、財調残高も約15億円弱まで回復した。標準財政規模の18%程度まで回復し、財政基盤の強化につながった。

●地域振興基金　179,688,974円

問　執行状況を伺う。

答　地域振興基金は合併特例債を活用して約8億円程度積み立てたものであり、ソフト事業に対して充ててきた。

このペースだと令和10年度で基金はなくなるものであり、一定の役割を果たした。

●RPA導入支援業務委託　4,752,000円
AI電話24時間自動応答システム導入支援業務委託　110,000円

問　業務内容の詳細と達成具合を伺う。

答　・学童保育料金の集計業務入力
⇒業務時間２分の１に削減。
・時間外勤務集計業務
⇒業務時間５分の１に削減。
・介護保険認定調査・後期高齢者医療保険還付の請求標準化対応
⇒業務時間４分の１に削減。
AI電話は、SMS送信機能の追加によりアンケートを送付できるシステムフォームの改修を行った。

※RPAとは、パソコンで行う定型的な事務作業を自動化する仕組みのこと。

建　設　部

●駐車場使用料　50,753,252円

問　増加の要因は何か。

答　令和5年1月に完成したバスターミナル駐車場拡張に伴う利用者の増加によるもの。

再問　稼働率はどのくらいか。

答　全395台のうち、1日の平均は276台。
コロナ禍で一時的に利用が減っていたが、回復傾向にある。土日は8割程度の利用があり、平日に余裕がある状況。

●市営住宅使用料　15,091,500円

問　解体集約を予定して新規入居を募集していないようだが、収入額について考えを伺う。

答　あくまで住宅に困窮している方のための市営住宅であるため、減免措置などもあり、収入をコントロールすることは難しい。現在89戸の入居があるが、集約により適正管理を進めていく。

再問　耐用年数を過ぎても問題ないのか。

答　耐用年数を過ぎているものはできる限り解体し集約したいと考えており、現在住んでいる方については、解体に伴う移転について今後協議をさせていただく。

教　育　部

●潮来小学校体育館改修工事　198,770,000円

問　**交付金について伺う。**

答　学校施設環境改善交付金と空調設備臨時特例交付金で、合計7,416万円。

再問　**中学校もしくは小学校に空調設備を入れていくにあたり、一般財源からおおむね1億円支出という認識でよいか。**

答　現時点ではおおむね同額程度の金額になっていくかと思うが、今後調査研究して参りたい。

●学校給食費　賄材料費　129,598,369円

問　**お米の物価高騰分は含まれているか。**

答　お米は含まれており、10月から新米ということで１キロあたり税抜き750円（4月～9月は570円）となり、値上がりした。お米に限らず他も値上がりしている。

再問　**総額でお米が占める金額はいくらか。**

答　上半期は5,891,292円、下半期は8,332,470円、合計14,223,762円となり、賄い材料費全体の約10.9%となる。

市　民　福　祉　部

●高齢者交通対策事業補助金　11,700,400円

問　**予算より増額した理由を伺う。**

答　令和7年度タクシー料金の見直しにより、前期は900円×24枚、下期は300円×40枚で計上した。上半期分の予算を組んでいたところ、見直しにより下期分が追加で計上されたため金額が増えている。

再問　**対象者数と配布枚数を伺う。**

答　対象者は75歳以上の免許証のない方で総数は把握していない。高齢者タクシー助成券は845名から申請があり、アンケートに回答した539名のうち半分以上利用した割合は70.3%であった。

●健康カレンダー

問　**令和7年度から廃止によるフォローアップはあるか。**

答　健康カレンダーは非常に良かったが、今年度はA3の両面刷りを公民館や各所に配置して必要な方に配布している。今後あり方を検討していきたい。

●放課後等デイサービス　89,163,912円
児童発達支援　22,315,625円

問　**利用人数を伺う。**

答　放課後等デイサービスは延べ669人で前年度より増加し、児童発達支援は延べ231人で前年度より減少している。

環　境　経　済　部

●塵芥処理費

問　**火災が起きる前と後の費用について伺う。**

答　火災前
不燃物処理費16,160,000円、環境保全協力基金320,000円、電気料3,820,000円で合計20,300,000円
火災以降（勝田環境（株）等へ委託）
不燃物処理29,336,230円、廃家電処理2,473,900円、分別作業2,056,395円で合計33,866,525円
差し引きにより、火災によって増えた市の負担は約1,356万7千円となる。

●鳥獣被害防止施設整備促進事業　5件
助成金額　150,000円

問　**電気柵設置の問い合わせについて伺う。**

答　現在問い合わせが増えている。昨年度の倍以上の予算をつけており、要望に対しては受付順に対応している。

委員会審査

9月10・11日に開催した委員会の審議結果を議会最終日に各委員長が報告しました

9/10 総務建設委員会

付託された案件

条例改正　1件、　補正予算　2件
その他　　1件

主な質疑

令和8年度潮来市一般会計補正予算（第2号）［所管科目］

問　**土木費　住宅費　住宅管理費　負担金、補助及び交付金　大規模建築物耐震化支援事業3,000千円の内容を伺う。**

答　大規模地震の際、緊急避難路である国道51号線などが建物の倒壊により閉塞するのを防ぐため、個人所有者が行う「耐震診断」の費用を助成するものである。

再問　**耐震診断の結果、改修が必要となった場合の工事に対する支援や、自己負担の考え方は。**

答　耐震診断の結果を受けて改修工事が必要となった場合、国や県の補助制度を活用することになる。上限額が設定されるため超過分は所有者負担となるが、今後は市の要項なども適切に定めながら、市民の負担軽減や支援のあり方について総合的に判断して参る。

所管に関する質問

問　**雨の日のパトロールを増やし、冠水しやすい道路などの早め修繕を行うべきではないか。**

答　雨天時も市職員によるパトロールや側溝の清掃等を行っている。しかし、市内全域を同時に確認することは難しいため、市民の皆様からの早期の通報も大変助かる。道路の穴や水たまりなどの危険箇所については、適宜修繕に努め安全な通行を確保していく。

問　**全国的に消防団員が減る中、手当等の処遇改善について今後研究する余地はあるか。**

答　以前条例改正を行い、出動時間に応じて手当等を引き上げた経緯がある。消防団は地域防災の要であり、今後も他自治体の取り組み状況などの情報を参考にしながら、処遇のあり方について研究して参りたい。

9/11 教育福祉経済委員会

付託された案件

条例改正　2件、　補正予算　4件
その他　　1件、　請願　　1件

主な質疑

工事請負契約の締結について（令和8・9年度　焼却施設2号ガス冷却室及び再燃焼室更新工事）

問　**2か年にわたって年度をまたぎ、一つの工事を分けて行う理由について伺う。**

答　本工事は機器の製作に時間を要することに加え、年明けの1月頃からひとつの焼却炉を一時停止して現場作業に着手する必要があるため、年度をまたぐ計画としている。

再問　**長期間にわたる工事や年度をまたぐことで、施設の稼働やご処理に支障が出る心配はないのか、また工事を円滑に進めるための具体的なスケジュール管理や目的について伺う。**

答　施設の稼働計画に影響が出ないよう、計画的に炉の停止時期を調整した上で実施するものである。機器の製作から現場施工までの工程を確実に行い、焼却施設の安全かつ安定的な稼働を継続していくために必要な措置として進めていく。

所管に関する質問

問　**給食センターが老朽化する中、広域連携の模索や、アルミからセラミック等への食器変更、地場産米の安定調達など、子どもたちのための給食環境の改善を図るべきではないか。**

答　現時点で広域連携の計画はないが、安全で美味しい給食の提供は市の務めである。食器や地産地消の米の活用も含め、今後の給食センターのあり方を検討していく。

問　**深刻化するイノシシ被害に対し、免許取得や罠購入などの負担が大きい。手厚い予算措置や、被害を受ける土地改良区との連携、処理施設の確保など、踏み込んだ支援を求めたい。**

答　今年度から免許試験料の補助や罠の購入補助等に着手している。土地改良区の被害対策の補助メニューの有無や、広域的な処理施設のあり方等も今後調査･研究していく。

熊本地震の被災者支援のための義援金を寄託

この度、令和8年7月熊本地震で亡くなられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。また、被災者の救済と被災地の復興支援のため尽力されている方々に深く敬意を表します。一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

潮来市議会では、被災地における今後の復旧・復興にお役立ていただくため、全議員からよせられた義援金8万円を令和8年8月18日に茨城新聞文化福祉事業団に寄託しました。

議員活動

議員研修会 ―ハラスメント防止条例について―

■会　　場　潮来市役所3F議員控室
■開 催 日　令和8年8月25日（火）
■内　　容　令和8年3月にハラスメント防止条例を制定した鹿嶋市の市議会議員を講師に招き、研修会を開催しました。
研修では、条例制定の背景や実効性を高めるためのポイントについてご講義いただき、議員間で活発な意見交換を行いました。
今回の学びをしっかりと活かし、誰もが尊厳を持って活動できる環境づくりと、より一層信頼される議会を目指し、条例制定に向けた検討をさらに進めてまいります。

第35回全国市町村交流レガッタ喜多方大会

■会　　場　福島県営荻野漕艇場
■開 催 日　令和8年9月26日（土）～ 27日（日）
■内　　容　本大会は、ボート競技を通じて参加市町村住民の健康増進と、競技の普及・発展を目指すものです。
今大会には、潮来市議会から2チームが出場しました。
両チームとも惜しくも上位入賞は逃しましたが、両チームとも力を合わせ、最後まで全力でオールを漕ぎ切り、白熱したレースが繰り広げられました。
ご参加・ご協力いただきましたみなさま、本当にお疲れ様でした！

アンケート結果レポート

参加したこども議員の皆さんからたくさんの感想をいただきました！一部をご紹介します。

私は、質問席で、議会さんの前で質問することはとても緊張しました。でも、なかなかない機会を経験でき、わくわくや楽しみという気持ちも出てきました。この議会を通じて、これからの潮来市の未来が見えた気がして、参加してよかったと思いました。潮来市を良くするために、私たちにもできることはたくさんあると思うので、私たちが今できることを実践してみようと思います。

私はこども議会に参加したことで、自分の意見を伝えることの大切さを学びました。改善して欲しい、こうなって欲しいと思っていても、言葉にして思いを伝えなければその現状はかわりません。だからこそ、小さなことから普段の生活でも「言葉にして伝える」ということを大切にしていきたいです。

たくさんの話し合いや会議を通して市の環境を整えてくれている市役員の方々、地域の方々に感謝を忘れずに生活したいです。そして、潮来市がよりよい市になるように、私たちもできることから行動に移していきたいです。

潮来市の未来についてや、議会の雰囲気や仕組みを知れた今回の体験は何にも増して楽しかったです。そして質問に対して真摯に答える職員の方々を見て、潮来市のために沢山頑張っているんだなと感じました。職員の方々にはこれからも未来のために頑張ってほしいです。

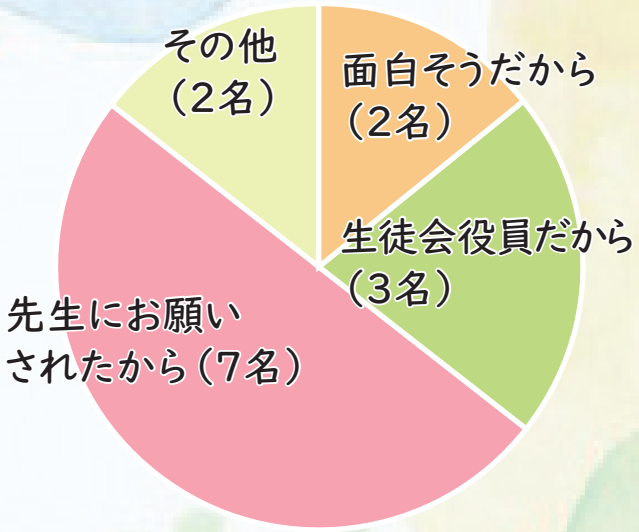
貴重な体験ができてとてもよかったです。また、市長さんたちが私たちの質問の答えを真剣に返してくれてとてもうれしかったです。そして、子ども議会を楽しいものにしてくれてとてもいい思い出になりました。ありがとうございました。

アンケートにご協力いただいたこども議員の皆さん、ありがとうございました！

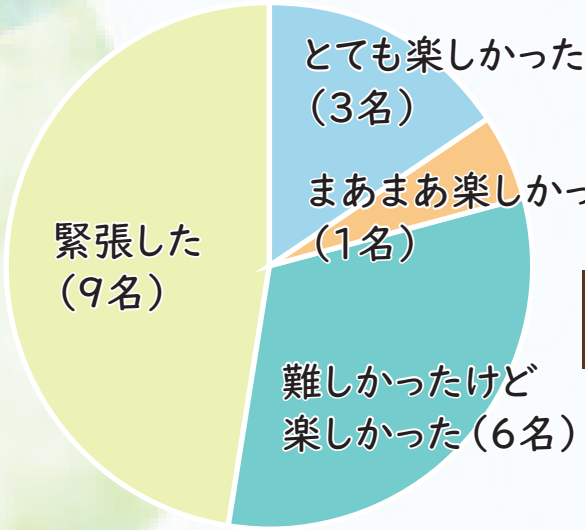
7月24日開催

こども議会

Q1 こども議会に参加した理由は？



Q2 こども議会に参加してみてどうでしたか？



- 普段話し合ってる人たちの前で発表するのは緊張したけど、言いたいことを言えて楽しかったから。
- 喋るのは緊張したけれど、いい経験ができたと思ったから。
- 回答が難しかったりしたけど、いい経験になり、楽しかったから。
- これからに繋がる経験になったと感じたと同時に、これからの潮来市の未来がより楽しみになったから。
- 普通じゃできない体験ができたし、中学生や学校に関して潮来市の具体的な意見が聞けて面白かったから。
- なかなか出来ない貴重な体験ができたから。
- 堂々と意見を発言することができたから。
- 市長さんたちなど初めて会う人に提案をしたから。
  また、もっと市長さんたちはこわい感じなのかと思っていましたが、楽しい雰囲気にしてくれたから。

潮来市議会だより「みらい」No.204
発　行　日：令和8年10月22日
■発行責任者：議会議長　飯田　幸弘
■編　集　者：広報編集委員会
■〒311－2493 茨城県潮来市辻626
■TEL 0299－63－1111　■FAX 0299－77－9823
gikai@city.itako.lg.jp
潮来市議会　検索
UD FONT
市議会HP

意見書提出

議員全員の賛同により、第3回定例会にて発議し、国に意見書を提出することが可決されました。
意見書は、地方自治法第99条の規定に基づき、潮来市議会として提出します。

提出先	衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣・文部科学大臣

（※紙面の都合により、意見書の一部を抜粋・要約して掲載しています）

■教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書

学校現場では教職員の長時間労働や未配置など課題が山積し、ゆたかな学びを保障するための十分な時間を確保することが困難な状況となっています。

【中略】

国庫負担制度の堅持、さらには国庫負担率２分の１への復元が必要です。
国会及び政府におかれましては、下記の措置を講じられるよう強く要請します。

記

1．加配教員の増員や少数職種の配置増など、教職員定数改善を推進すること。
2．地方財源を確保した上で義務教育費国庫負担制度を堅持すること。
3．自治体の実効性のある働き方改革を実行するために必要な予算措置を講じること。

令和８年９月18日
茨城県潮来市議会

NEXT

次の定例会は
12月1日(火)
開会予定

会期日程は、ホームページをご覧ください。

傍聴してみませんか？

市議会では、市民のみなさんの生活に直結した重要な問題が審議されています。

議員の活動状況や市政の内容を知るためにも、ぜひお越しください。

開催日当日、２階総務課で受付しています。

※基本的な感染症対策にご協力をお願いいたします。

表紙の説明

第35回全国市町村交流レガッタ喜多方大会

9月26日～27日に福島県喜多方市において、第35回全国市町村交流レガッタ喜多方大会が開催されました。

潮来市より出場した「鹿行消防」クルーが「男子160歳未満の部」において見事優勝を果たしました。おめでとうございます！

また、出場された選手の皆さまも日頃の練習の成果を発揮し、素晴らしい健闘を見せました。

大会を通じて、参加者同士の交流も深まりました。

▲優勝した鹿行消防クルーの皆さん

議会広報編集委員会

委員長　石田　裕二
副委員長　和田　直子
委員　吉川　利一
委員　兼平　直紀
委員　平田　健三
委員　小沼　英明

編集後記

季節が秋へと近づく中、市議会は無事閉会いたしました。

今年は特に自然災害が激しく、台風25号により印旛沼堤防は決壊、大規模水没被害が起きました。

潮来も水害の恐れがある土地です。当然市も最大限の備えをしていますが、それを生かすには市民の皆様の防災意識も重要です。

この機会に潮来市ＨＰで公開されている浸水想定地域・避難ルートなどの情報をぜひご確認ください。

議会だより「みらい」は防災行政含め、市政のあり方を明らかにするため議会の様子を報じています。

議会広報委員一同、より潮来市の今と市政がわかる紙面となるように努力して参ります。

今後とも議会だより「みらい」をよろしくお願いします。

広報編集委員　吉川　利一